

【ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）】

理学研究科数学専攻は、建学の精神「学問による人間形成」に基づき、数学に関する高度な専門性の発露を通して地域や国際社会の発展を積極的にリードする人物を育成します。理学研究科数学専攻で学んだ学生がこのような人間に成長したことを、以下の資質・能力を身につけたかという視点で評価し、理学研究科数学専攻の学位授与方針に従って修了を認定し、修士(理学)の学位を授与します。

1. 数学を学ぶことで、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズを数理的な観点から解析し、人類文化の発展に貢献する能力を有している。
2. 数学専攻での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”において、数学の専門家として専門性の高い内容を他者に説明出来る能力を有し、それを通してリーダーシップを発揮する能力を有している。
3. 数学に関する深い学びと研究を通して、数学の知識の体系的な理解に加え、論理的思考力・数理的判断力をさらに高め、新規の知見を見出し、また修士論文作成を通して新しい価値観の創造に関わることで、極めて高い専門性を獲得するだけでなく、それを将来にわたり発展させようとする態度を有している。

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）】

理学研究科数学専攻は、建学の精神「学問による人間形成」に基づき定めたディプロマ・ポリシーに示す学修目標に、全ての学生が到達するように、以下の方針でカリキュラムを構築します。

1. 人類文化の発展に数学を通して貢献する能力を養うために、数学に関する視野を広げ、幅広い分野の展望やトピックの獲得を目指した「特論科目」を設定する。その評価においては、形成的評価を適宜行い、各科目の特性に合わせた様々な評価方法を適用して、可否の判定を伴う総括的評価を実施する。
2. “協創”による社会問題の解決においてリーダーシップを発揮するための科目として、能動的活動を主体として、数学の専門性獲得を目指した「数学講究」を設定する。その学びにおいて、科目の特性に合わせた様々な評価方法を適用して、可否の判定を伴う総括的評価を実施する。
3. 数学に関する学び及び探究を深めるため、論文作成を行う。その際に必要となる高度な専門知識の獲得や研究活動能力の取得を目指した「論文研修」を設置する。研究計画の策定及び研究実施の過程において形成的評価を適宜行い、可否の判定を伴う総括的評価は、複数の研究科担当教員が関わる形で、数学専攻が示す基準に基づき、口頭での質疑応答を伴う論文発表会、及び学位論文審査において行う。

【アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）】

理学研究科数学専攻では、数理的手法を生かして地域や国際社会の発展を積極的にリードする人物の

養成を行います。そのため以下の資質・能力もしくは志向を有する人に入学を期待します。

1. 多様な事象に数理的な観点から理解を示し、人々の暮らしにおける課題・ニーズは何かという視点を持って、社会のルールに従って、責任感を持って行動し、自己の理想に向かって専門分野の研鑽を深める意思を有する人
2. 他者との対話を通して自らを高め、他者と協力して社会の課題に取り組むうえで、リーダーシップを発揮する意思を有する人
3. 理学部数学科で修得した程度の基礎的な数学の知識と技能を有しており、それを発展させて、地域や国際社会に存在する様々な課題に取り組もうと考えている人

(2027年4月入学者用)